

地域の背景・課題

戦略の基本目標：地域の宝を活かした町内外の交流が盛んなまちづくり

- 基幹産業である農業や中心市街地に立地する商工業において、担い手の高齢化や後継者不足等により耕作放棄地や空き店舗等が増加し、地域活力が低下している。
 - このため、グリーンツーリズム事業を推進しているが、一過性の日帰り体験型事業で完結しており、移住定住、新規就農、新規創業に向けた取組みが行われていない。
 - また、町のPR方法が県内情報誌やホームページの活用のみであり、特に町外への情報発信力が不足している。
- ⇒ **グリーンツーリズム事業を活用した移住定住促進プログラムの開発、移住定住促進の仕組みづくり、情報発信等を実施。**



取組の概要

地方への人の流れ：人材の確保・育成等の人材分野

実施主体：移住定住推進会議

（ひかわツーリズムクラブ、農業、商工、金融、観光関係者等の民間団体、連携協定を行っている大学等）

事業内容：①移住定住促進プログラム等の実施 ②情報発信事業

①移住定住促進プログラム等の実施

- ・地域リーダー育成塾（※）において、地元若者の意見を踏まえた移住定住プログラムを開発し、移住定住推進会議が主体となってプログラムを実施する。
- ・氷川町への移住定住に関する相談窓口となり、住まいや仕事、子育て環境などの各種問い合わせにワンストップで対応し、スムーズな移住定住へと繋げていく。



※地域リーダー育成塾

- ・業種の枠を超えて地域の魅力を発掘し、高めていく。
- ・農業の活性化を目指し、食・観光という視点で、事業を捉えることができる地域リーダーを育成。



同志社大学・宮崎大学との連携協定

- ・地域づくり、地域振興に関する事項
 - ・教育に関する事項
 - ・人材の育成に関する事項
- 相互に連携、協力、提言



②情報発信事業

- ・大都市圏での移住定住イベントへの参加。
- ・PR動画、パンフレットの活用。

氷川町の自然環境や産業、子育て環境等に関する取組みなどを幅広くPRするため、移住定住イベント等へ積極的に参加し、SNSの活用やPR動画、パンフレット等を活用して情報発信します。

今後は・・・

モニターツアーの意見を反映させながら、定住自立圏（八代市・芦北町）と連携して、都市圏向けに移住定住促進事業を行います。